

## 2023年度「兵庫県文化財建造物等保存修理技術スキルアップ講習会」受講者募集のご案内

主催：公益社団法人 兵庫県建築士会

後援：兵庫県教育委員会、神戸市、たつの市（予定）

協賛：一般財団法人 神戸シティ・プロパティ・リサーチ（予定）

（公社）兵庫県建築士会では歴史的建造物委員会を発足させ、登録された「歴史的建造物保存活用推進員」の方々による歴史的建造物の修理事業等をすすめております。

このたび、同推進員の方々のより一層のスキルアップをめざすとともに、こうした分野に興味を持っている建築士の方を対象に、兵庫県下の重要伝統的建造物群保存地区や登録有形文化財（建造物）などの文化財建造物等の保存修理に従事するうえで必要となる専門的な知識と実践的なノウハウ等を習得し、文化財建造物等の保存活用により適確に実務的に対応できる人材の育成を目的とした2023年度「兵庫県文化財建造物等保存修理技術スキルアップ講習会」を開催します。

下記の要領で受講者を募集いたしますので、ご応募いただきますようお願いいたします。

- 開催日 2023年9月23日（土）・10月7日（土）・10月21日（土）・11月4日（土）・11月18日（土）の5日間（延べ20.5時間）
- 会場 9月23日（土）／こうべまちづくり会館3F「多目的室」（神戸市中央区元町通4-2-14）  
10月7日（土）／こうべまちづくり会館2F「ホール」  
10月21日（土）／たつの市中央公民館・龍野伝建地区（たつの市龍野町立町40他）  
11月4日（土）／北野工房のまち「多目的室②」・北野伝建地区（神戸市中央区中山手通3-17-1他）  
11月18日（土）／こうべまちづくり会館3F「多目的室」
- 受講資格 以下の要件のうち、いずれかを満たす方  
①（公社）兵庫県建築士会に登録された「歴史的建造物保存活用推進員」  
②建築士の資格をもつ「ヘリテージマネージャー」の登録者  
③（公社）兵庫県建築士会が適当と認める者
- 受講料 （公社）兵庫県建築士会会員：10,000円 会員外：15,000円（資料代を含む）  
受講料は講座受付時に徴収させていただきます。申込時、入会を希望された方には入会申込書をお送りいたします。8月末までに入会手続きを完了されましたら、会員価格で受講していただけます。
- 募集人員 20名（申込先着順）
- 講習内容 裏面のとおり
- 申込期間 2023年8月7日（月）～2023年8月25日（金）
- 申込方法 下記の受講申込書に必要事項を記載して、切り離さずこのまま（公社）兵庫県建築士会事務局あてにファックスでお送りください。受講資格②でお申し込みの方は、登録書の写しも併せてお送りください。
- 登録等 講習修了後、（公社）兵庫県建築士会から受講修了証が交付され、本会に登録されます。登録した方のうち、歴史的建造物保存活用推進員の応募資格をもつ方で希望される方は、歴史的建造物保存活用推進員として本会と提携した地方公共団体等から依頼のあった文化財建造物等保存修理業務等を歴史的建造物委員会から推薦します。

## 2023年度「兵庫県文化財建造物等保存修理技術スキルアップ講習会」受講申込書

FAX：078-327-0887 （公社）兵庫県建築士会事務局 宛

お問合せTEL：078-327-0885

(ふりがな) 氏名	( )	生年月日	年 月 日	※受付番号
住所・電話	〒 -			TEL： - - FAX： - -
勤務先等	名称： 所在地：			TEL： - - FAX： - -
資格 【該当するものに○をつけてください】	<input type="checkbox"/> （公社）兵庫県建築士会に登録された「歴史的建造物保存活用推進員」 <input type="checkbox"/> 建築士の資格をもつ「ヘリテージマネージャー」の登録者：登録書の写しの送付要 <input type="checkbox"/> 建築士種別（ ）登録番号（ ）			
受講料 【該当するものに○をつけてください】	<input type="checkbox"/> （公社）兵庫県建築士会会員 10,000円（ ）支部 会員番号（ ） <input type="checkbox"/> （公社）兵庫県建築士会入会希望者 10,000円 <input type="checkbox"/> （公社）兵庫県建築士会会員外 15,000円			

(注)※欄は事務局記入欄ですので、ご記入の必要はありません。

# 2023年度「兵庫県文化財建造物等保存修理技術スキルアップ講習会」カリキュラム

第1日目／2023年9月23日(土) 13:30～18:00

於：こうべまちづくり会館3F「多目的室」

No	講座のテーマ	分	講師等(敬称略)	講座の内容及び目標
—	ガイダンス・講習のねらい	15	実行委員会事務局	人材育成における講習の意義、各講座の内容概説
1	登録有形文化財や伝建地区等、地域の歴史的建造物保護の制度及び補助事業の概要：講義	60	田中康弘(兵庫県教育委員会文化財課)	文化財保護法の趣旨を理解するとともに保存修理に係る諸規制措置及び支援措置の運用について理解を深める。
2	文化財建造物の修理原則：講義	60	村上裕道(京都橘大学名誉教授)	地域の伝統構法を踏まえた文化財建造物における保存修理の考え方を学ぶ。
3	地域の歴史的建造物の特性把握とまちづくり：講義	60	大場修(立命館大学教授)	歴史的建造物が地域の景観に寄与する特徴や伝統的建造物群の特性を抽出する手法を学び、地域の歴史的景観の特質について理解を深める。
4	個別建造物の保存活用計画の策定・計画：講義	60	福本一海(神戸市都市局景観政策課) 島田臣也(神戸市建築住宅局建築安全課)	伝統的建造物や登録有形文化財等の保存活用計画策定の方法を学ぶ。事例：生糸検査所、ジェームス邸
5	課題提示：説明	15	実行委員会事務局	最終日の登録文化財調書の書き方に係る課題の提示

第2日目／2023年10月7日(土) 13:30～17:30

於：こうべまちづくり会館2F「ホール」

No	講座のテーマ	分	講師等(敬称略)	講座の内容及び目標
6	建築文化遺産の意義：講義	60	中江研(神戸大学教授)	建築文化遺産としての歴史的建造物の位置づけ、社会における役割等について理解を深める。
7	現状変更許可の考え方：講義	60	村上由樹(丹波篠山市文化財課)	伝建地区における現状変更許可の基準について、その運用のあり方について理解を深める。
8	保存修理の実態事例と課題：講義・演習	60	才本謙二(才本建築事務所)	伝建地区等における保存修理の実例を学び、その他重要文化財・登録文化財も含めた活用・運用のあり方について理解を深める。
9	文化財の活用、再生事業について：講義・演習	60	藤原岳史(一般社団法人ノオト)	古民家再生などの歴史的建造物の再生・活用プランとそのための資金調達及び事業スキームについて学ぶ。

第3日目／2023年10月21日(土) 13:30～17:30

於：たつの市中央公民館

No	講座のテーマ	分	講師等(敬称略)	講座の内容及び目標
10	伝建地区における保存活用計画の概要、制度運営の実態と課題：講義	30	高橋秀人(たつの市町並み対策課)	伝建地区の保存活用計画の内容や制度運用の実態について理解を深める。
11	修理基本設計の考え方：講義	30		既往修理事業をもとに修理基本設計や保存活用計画策定にかかる課題、問題点について理解を深める。
12	伝建地区の修理現場の事例発表：講義・演習	60	清水克俊(アトリエ CINQ plus) 酒井吉一(さか井建築設計事務所)	修理の事例を通じて、文化財建造物の当初形式及び後世の改変を考察し、復原の考え方や手法を学ぶ。
	移動時間	30		於：龍野伝建地区
13	伝建地区の修理現場：実習	90	清水克俊(アトリエ CINQ plus) 酒井吉一(さか井建築設計事務所)	修理現場を見学し、実測調査、痕跡調査等を学ぶ。

第4日目／2023年11月4日(土) 13:30～17:30

於：北野工房のまち「多目的室②」

No	講座のテーマ	分	講師等(敬称略)	講座の内容及び目標
14	文化財建造物の耐震・バリアフリー対策：講義	60	奥村由和(神戸市建築住宅局建築課)	「伝統的建造物群の耐震対策の手引」(文化庁)をテキストに文化財建造物の耐震対策の要点を学ぶ。 事例：御影公会堂、ハンター邸、風見鶏の館
	移動時間	30		於：北野地区各所
15	重要文化財や伝建地区等の修理現場見学による研修：実習	150	奥村由和(神戸市建築住宅局建築課) 久保田篤史(神戸市文化スポーツ局文化財課)	重要文化財や伝建地区等の修理現場において、破損部材の実測、修理方法の検討等を通して、破損状況に応じた修理方針の立て方等を学ぶ。 事例：アメリカ領事館官舎(耐震改修工事中) 風見鶏の館(耐震改修工事中)、ラインの館

第5日目／2023年11月18日(土) 13:30～17:30

於：こうべまちづくり会館3F「多目的室」

No	講座のテーマ	分	講師等(敬称略)	講座の内容及び目標
16	登録文化財、景観形成重要建築物等の所見：講義	50	森崎輝行(森崎建築設計事務所)	登録文化財等の事例に基づき、調書(特に所見)作成に不可欠な要点を学ぶ。
17	ワークショップ①：演習 調書(特に所見)の書き方	50	奥井正造(環境意匠計画・奥井研究室) 岸野裕児(岸野建築設計工房)	受講生が事前に提出した「私の見つけた登録文化財」の調書を共有し、所見作成に向けた実地演習を行う。
18	ワークショップ②：演習 建物の価値の見出し方等(各グループの発表)	80	渡邊一洋(渡邊建築設計事務所)	保存活用の事例をもとに、それらの景観的・建築的・文化的価値を議論・発見するとともに、成果を全体で共有する。
19	意見交換	30	森崎輝行(森崎建築設計事務所)	歴史的建造物の位置づけと役割を議論し、今後の展開について改善すべき課題を抽出する。
—	修了式	30	実行委員会事務局	修了証授与と今後の取組について

(注：講師等は都合により変更する場合があります。)

この講習会は文化庁の「令和5年度文化芸術振興費補助金(地域文化財総合活用推進事業)」を受けて実施しています。